

第 19 号

群大病院 地域連携だより

病院の理念

大学病院としての使命を全うし、
国民の健康と生活を守る。

基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。

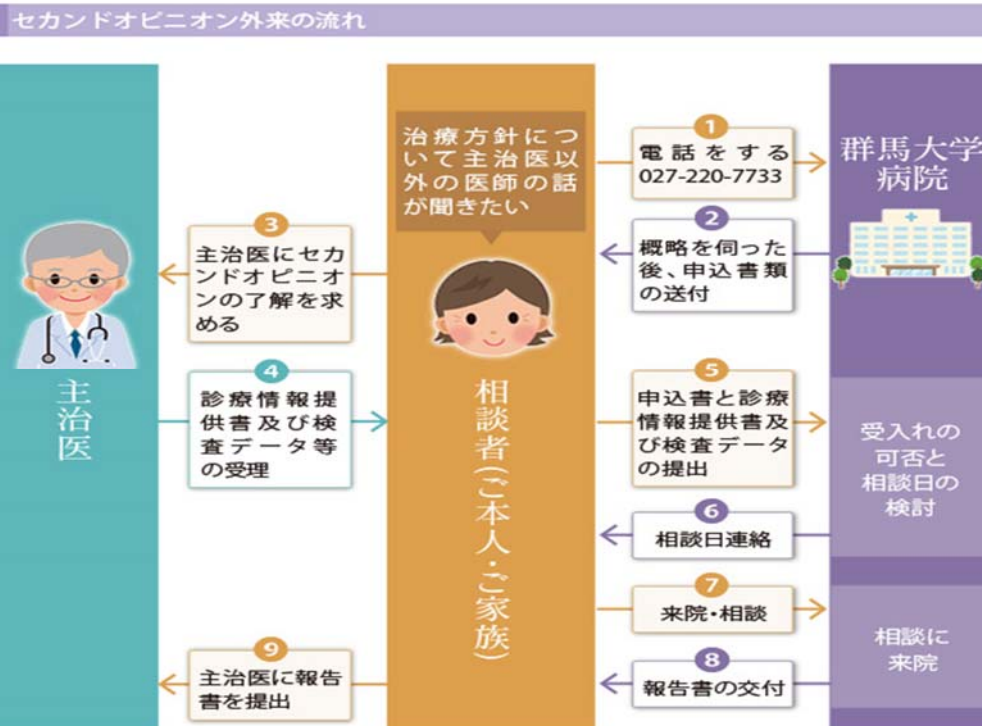
セカンドオピニオン外来についてご案内

患者支援センター 副センター長 大山 良雄



平素より、セカンドオピニオン外来の運用につきまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。この度、セカンドオピニオン外来の運用手順を変更いたしましたので、次の「セカンドオピニオン外来のご案内」をご覧ください。

一番お知らせしたい変更点は、セカンドオピニオン外来での相談を希望する場合、まず、相談者(患者さん、または、ご家族)から当院の患者支援センター(027-220-7733)へ電話にて連絡をいただく点です。相談内容がセカンドオピニオン外来で対応できる内容であるかを確認いたします。先生方の医療施設で治療を受けている患者さんから当院のセカンドオピニオン外来に関する相談がございましたら、まず、患者支援センターへ電話にて問い合わせをするようにご指導いただきますようお願い申し上げます。



群馬大学医学部附属病院
患者支援センター(連携担当)

患者支援センターホームページ

〒371-8511 前橋市昭和町三丁目 39 番 15 号
電話 027-220-7733
FAX 027-220-7777
<http://kanjasien.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>

セカンドオピニオン外来のご案内

セカンドオピニオンとは、「医師をかえる」ことではありません。
病気の治療方針について、かかりつけ医（主治医）以外の医師の意見を聞く事です。

- ◆セカンドオピニオン外来は**完全予約制**です。（まず、お電話ください。）
- ◆**現在受診中の主治医の先生の診療情報提供書（紹介状）**が必要です。
- ◆セカンドオピニオンは相談であり、診察ではありません。検査や治療行為（投薬投与、処置）は行いません。また、医師の指定はお受けできません。
- ◆当日患者さんが同席できない場合、患者さん本人が申込者でない場合は「相談同意書」が必要です。
- ◆以下のような相談には応じられません。
 - ・ 当院への転医治療を目的とする場合
 - ・ 死亡した患者さんを対象とする場合
 - ・ 精神疾患に関する相談
 - ・ 当院に該当の専門医がない場合
 - ・ 主治医や通院中の医療機関に対する不満
 - ・ 医療事故、医療訴訟に関する相談
 - ・ ご本人とご家族以外の方からの相談
 - ・ 治療、診断に関すること以外の相談

その他お申込み内容などにより、通常外来診療をお勧めする場合や、お断りさせていただく場合もございます。

～重粒子線治療について～


重粒子線治療の適応は、診察を受けていただき、専門医による総合的な判断を行った上で適応の可否を判断します。当院の重粒子線治療の適応判断を目的とする場合、**原則としてセカンドオピニオンとしての取り扱いはいたしません。**

診察は完全予約制となっております。予約のお申込みは医療機関からお願いします。

◆相談日と費用について

- ・ お申込みから2週間程度を目安に日程を組ませていただきます。
- ・ 健康保険の適用にはなりませんので、全額自己負担になります。費用は **32,400 円（税込）** です。
- ・ 相談時間はおおむね1時間です。

【お問合せ・お申込み先】

群馬大学医学部附属病院 患者支援センター【セカンドオピニオン外来】
〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39番15号
 **027-220-7733**
受付時間・診療日/13:00～17:00(土・日・祝日除く)

患者支援センターホームページ【セカンドオピニオン】

リニューアルしました。

<http://kanjasien.dept.showa.gunma-u.ac.jp/secondop.html>

〔開催報告〕

＊群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座

6月14日(土)に群馬会館を会場として、群馬県におけるがん対策推進を目的に、患者及びその家族、医療関係者、行政担当者が交流や意見交換を行う市民講座を開催しました。

今年度は大腸がんをテーマとして、群馬大学大学院医学系研究科がん治療臨床開発学講座・浅尾高行特任教授より「ここまできた大腸がんの最先端治療」と題して教育講演を行いました。さらに特別講演として、国際毛髪科学研究会・会長井上哲夫先生をお招きし、「毛髪・脱毛の知識と抗がん剤使用による脱毛対策」をテーマに一般的な毛髪ケアと抗がん剤使用による脱毛とケアについて実演を交えた講演が行われました。

当日は180名もの方々にご参加いただきました。アンケートでは「最新のがん治療について情報が得られて参考になった。」「普段から行えるシャンプー方法など、すぐに実践できる方法が学べて良かった。」といったご意見を多くいただきました。講演後の交流茶話会も盛況でした。



＊第5回地域医療連携施設交流会

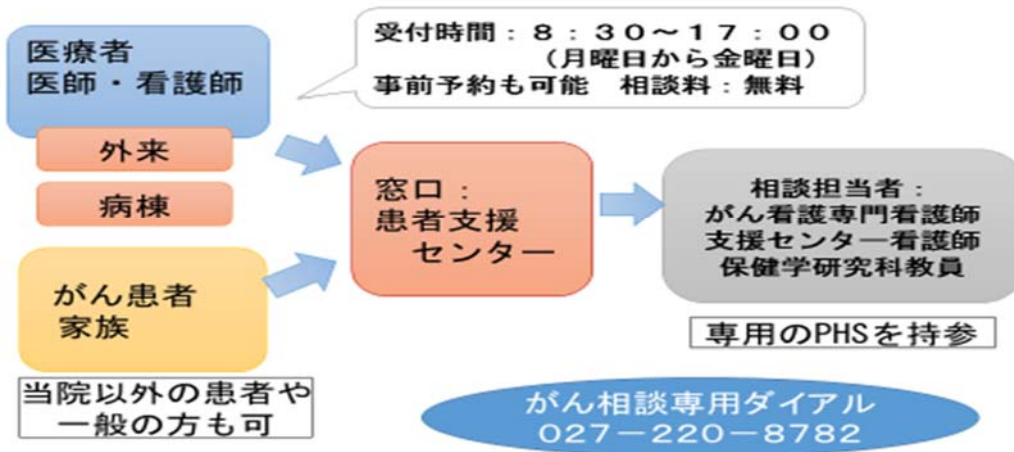
7月3日(木)に前橋市商工会議所にて、現在までに当院との間に連携施設として登録している地域医療機関の関係者をお招きして、群馬大学医師会共催、群馬県医師会後援のもとに、地域に根ざした病院として、地域医療機関との前方・後方連携体制をより強固なものとし、相互理解をさらに深めることを目的として、今回第5回目となる地域医療連携施設交流会を開催し、院内外から200名の参加をいただくことができました。

交流会Ⅰ部では野島病院長の挨拶に続き、月岡関夫群馬県医師会長、中屋光雄前橋市医師会長から来賓挨拶を頂戴し、在宅や地域包括ケアにおける患者さん情報の連携、病診連携の重要性等、群馬大学医学部附属病院との医療連携に期待する声をお寄せいただきました。また、当院の取り組みの紹介として、臨床研究中核病院としての活動、TRセンター・先端医療科の紹介、重粒子線治療、ダヴィンチ手術、がんパスについて当院医師より情報提供が行われました。その後、引き続き交流会Ⅱ部で来賓・職員紹介の後、活発な議論及び意見交換が行われ、盛況のうちに会を終了しました。



～がん相談支援センターにおける患者さんのサポート～

1. がん相談外来の流れと担当者



2. がん患者さん・ご家族のためのサロン **なごみサロン**

毎月、最終水曜日午後 1 時から 3 時まで患者支援センターにて開催しています。

初めての方でも気兼ねなく参加できます。予約は不要です。



リレー・フォー・ライフジャパン 2014 ぐんまに参加しました

RELAY FOR LIFE JAPAN CANCER SOCIETY

リレー・フォー・ライフ
ジャパン2014ぐんま

2014 10/11 (土) -10/12(日) 終了

リレー・フォー・ライフは、がん征圧を目指し、がん患者や家族、支援者らが夜通し交代で歩き、勇気と希望を分かち合うチャリティイベントです。世界20カ国で開催され、日本では全国40カ所以上で開催されています。群馬県では2013年から始まり、今回2回目の開催で、延べ6100人が参加しました。当院から324人参加し、24時間バトンをつなぎ、完走しました。

群大病院は来年も参加します。患者さんの参加をお待ちしております